

辰の勢いで



栃木県看護連盟会長
伊藤正子

会員の皆様、新春のお歓びを申し上げます。

去年は、戦後最大の試練の年でした。悲しみや苦しみの多い一年でしたが、被災者の皆様の復興への熱意と努力に私たちがおおいに励まされた一年でもありました。「首都直下型地震が4年以内に70%おこるのでは」の報道におののいております。日ごろから危機管理に対しての十分な学習と訓練が必要であることを痛感しております。

一昨年、政権交代がありました。看護連盟では初心貫徹して「高階恵美子さん」を上位で当選させることが出来ました。高階議員は熟年議員のごとく大活躍しています。

あの時の熱い想いを来年7月までそれ以上に持ち続けることが出来ますように期待しています。美酒を育てるのに時間を要するように、「連盟活動を理解していただくにも」時間の蓄積が必要です。私達は各支部でのミニ研修会、後援会、ミニ説明会など細やかな計画に基づいて、実践して下さるようお願い致します。「参議院選挙」はあと1年先ですが、箱根ランナーが教えてくれた「タスキをつなぐことの大切さ」を来年の7月には必ず実現できるよう一丸となって前に進みたいと思います。

来年の参議院選の候補予定者が決まりましたので前回に増して皆様のご協力、ご支援を心からお願い致します。

今年の干支の辰は非常に強い競争心を持っており、どこまでも闘い続けようとする生物だそうです。辰の勢いで頑張りましょう。

試練の年を 乗り越えて



栃木県看護協会会長
河野順子

会員のみなさま新年おめでとうございます。

去年は、春まだ浅い3月11日未曾有の大震災（東日本大震災）に見舞われまして、日本国民が深い悲しみに陥りました。そしてその時の日本人は、秩序を守り耐え忍び助け合って真剣に生きる姿を世界の人々に示し、賞賛されたことは悲しみの中にも励みになったことでした。日本看護協会では当日に災害対策本部を立ち上げ、全国の災害支援ナースを被災地に派遣し、大きな働きをされました。また、栃木県看護協会も日本看護協会の要請を受けて福島県へ災害支援ナースを派遣し活動をしてきました。

また、宮城県看護協会には看護職が必要としているユニホーム等を県内の医療施設からご寄付頂いた 約 1500 着を届けました。

栃木県に被災して来られた方に対しては、栃木県の要請もありボランティアの看護職の方々がケアの支援に赴いてくださいました。

まさかの時にさまざまな形で支援のできる体制が委員会として組み立てられていたことと会員のみなさまの多大なるご協力があったからこそできたものと改めて感謝しております。

さて、日本看護協会では看護協会長を久常節子氏から坂本すが氏に引き継がれ、多くの事業を多年手がけてるかのようになりに実践されています。